Creative Enzymes®

ストレプトコッカス・ピオゲネス由来のエンドグリコシダーゼS、組換え型

Cat. No. NATE-1603

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	エンドグリコシダーゼSは、IgGのFcドメインに付着したN-グリカンに特異的です。N-グリカンは最初のGlc-Nacの後で切断されます。反□は□やかで、生理的条件下で迅速に進行し、補因子や界面活性剤を必要としません。この酵素は、溶液中に他の糖鎖修飾されたタンパク質が存在していても、IgGのFcドメインからのみグリカンを加水分解します。
別名	エンドグリコシダーゼ S; IgGZERO

製品情報

種	ストレプトコッカス・ピオゲネス
由来	E.coli
外□	白から淡い黄色の粉
形態	保存料無添加の凍結乾燥粉末
分子量	110 kDa
純度	> SDS-PAGE分析によって決定された95%の均一性。
最適pH	6.5-7.5
緩衝液	pH 7.4、37°Cの cleavage buffer は最適な酵素活性を示します。pH 6-8 の範□の多くのバッファーが使用可能ですが、酵素をフルスケールで使用する前に、反□条件を少量でテストする必要があります。
単位定義	1ユニットは、37°Cで30分間、10 mMリン酸ナトリウム、150 mM NaCl、pH 7.4でインキュベートすると、1μg IgGの95%以上を消化します。

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで
安定性	酵素は水を加えることで再構成され、再構成後は+4-8°Cで1ヶ月間安定しています。酵素は分注され、-20°Cで少なくとも6ヶ月間保存できます。製品は常温で発送されますが、到着後は-20°Cで保存する必要があります。